

番号	1-1-2	表題	渋谷駅周辺大規模再開発と連動した官民連携による雨水貯留施設の整備	
内容	<p>近年、東京都内においてはゲリラ豪雨などが増加傾向にあり、浸水被害への対策が急務となっている。渋谷駅東口地区は、地下街対策地区として、1時間75ミリ降雨時にも地下街への雨水の侵入を防止する施設整備を推進する計画となっていたが、ビルが密集する市街地であることから雨水貯留施設の整備が困難であった。そこで、民間の再開発と連携して施設整備を行った。</p> <p>渋谷駅周辺は100年に一度といわれる駅周辺大規模再開発が進行中であり、渋谷駅東口地区においても渋谷駅街区土地区画整理事業(以下、区画整理事業)が計画されていた。区画整理事業では渋谷駅東口に地下広場を整備することとなっており、関係機関との調整の結果、本事業では雨水貯留施設を合わせて整備することが可能になった。</p> <p>施設整備においては、区画整理事業範囲内の雨水貯留施設及び取水管・取水人孔は区画整理事業者が区画整理事業のその他の工事と一体的に施工し、範囲外の取水管・取水人孔は当局で施工する役割を分担した。また施設供用後の維持管理は当局とした。</p> <p>上記の官民連携により、2020年8月より雨水貯留施設を供用開始している。官民連携により施設整備の課題を解消したことと、区画整理事業者が施工する地下広場整備他の工事との仮設物の共有や工程調整など、一体的な施工により早期の供用開始が実現した。</p> <p>また、整備後も、地域のエリアマネジメント協議会と協働し、整備効果のPR等を行っている。</p> <p>開発の機会を捉え、官民連携により施設整備を行う本事業の手法は、今後も引続き有効であると考えられる。</p>			
キーワード	官民連携 浸水対策 再開発 豪雨 雨水貯留施設			
処理区名	芝浦処理区	位置区分	管きよ	
職種区分	土木	施策区分	浸水対策	
状態区分	計画、工事	新規性		
実施年度	平成22年～令和2年度	全体期間	平成22年～令和2年度	
担当部署	計画調整部事業調整課			
発表履歴	局内			
	局外	令和3年度 第58回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報	経営計画2021			